



つれづれだより

ダム

5月に入り、新緑の季節となりました。

たらの芽・こしあぶら・わらび・・・などの山菜がおいしくいただける季節となり、ダム周辺でも散歩がてらわらびなどの山菜を採ってみえる方をみかけます。

ダム堤体上を歩いてダム湖を1周することが出来ますので、お時間がありましたら初夏を感じてゆったりとした時間を過ごしてみるのも良いかもしれませんね。

ダム湖の浮き島 ~ 別名：亀島 ~



資料館の階段踊り場に、左記と同様のパネル写真があります。

ダム湖の水位が上昇すると、湖にぽっかり浮いている様に見える事から”浮き島”(別名：亀島)と呼ばれています。

洪水期(6月～10月中旬)は水位を下げる為、浮き島へ渡る橋が水面から現れ、浮島へ渡る事ができます。

〔橋は標高406m位で沈みますが、雨量などの関係により、昨年度は標高400m前後の水位を保っていたので1年中渡ることが出来ました。〕

「願いの鐘」なるものがあり鐘を鳴らし願いの紐に自分のストラップをくくりつけて帰る人達があとをたたなかつたとか・・・？

鐘は他2ヶ所にもあり

- ・阿木川湖の浮島は『恋愛成就』
- ・岩村城址は『立身出世』
- ・農村景観日本一の地は『金運』

とそれぞれ願い事が違っており、3ヶ所すべてまわると願いが叶う・・・とのこと。

今現在も鐘が残っているか・・・は行ってみないとわかりません。

良く見ると、以前は亀の形をしていた！



浮き島・望郷公園・ふれあい親水公園
3つを合わせてこぶし公園と呼びます。

浮き島のある場所は、かつては阿木川ダムの底へ沈んだ小沢村、全国で13番目に開通した「岩村電気鉄道」、湯治客でにぎわった「鹿の湯温泉」など、歴史ある名所でした。その歴史を忘れないため「こぶし公園」として整備されました。



今はこんな感じになっていきます。